

令和元年度茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

1. 数値目標の実績値について

基本目標	A	B	C	計
1 産業が力強く成長するまち	0	0	3	3
2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち	1	0	1	2
3 市民の活力と賑わいにあふれるまち	2	0	1	3
4 地域力が暮らしを支えるまち	0	0	3	3
計	3	0	8	11

A：数値目標に対する実績値が70%以上

B：数値目標に対する実績値が40%～70%

C：数値目標に対する実績値が40%未満

2. 重要業績指標の評価について

基本目標	A	B	C	計
1 産業が力強く成長するまち	2	4	0	6
2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち	3	1	2	6
3 市民の活力と賑わいにあふれるまち	1	2	3	6
4 地域力が暮らしを支えるまち	4	1	0	5
計	10	8	5	23

A：数値目標に対する実績値が70%以上

B：数値目標に対する実績値が40%～70%

C：数値目標に対する実績値が40%未満

3. 主要事業の進捗状況について

基本目標	a	b	C	計
1 産業が力強く成長するまち	16	3	19	38
2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち	26	8	14	48
3 市民の活力と賑わいにあふれるまち	34	6	9	49
4 地域力が暮らしを支えるまち	15	0	6	21
計	91	17	48	156

a：順調に進捗している（70%以上）

b：進捗に一部遅れがある（40%～70%）

c：未実施又はかなり遅れがある（0%～40%）

4. 基本目標ごとの評価

基本目標1 産業が力強く成長するまち

茂原には工業団地の企業立地や創業支援事業計画に基づいた事業、中小企業者等のニーズに応じた支援や商店街の活性化の推進については、事業の取り組みが進んだ。

対して、農産物や駆除動物を活用した新たな商品開発の取り組みや農業の担い手の育成や経営力の強化、企業参入による農地利用の促進、広域連携の地域ブランドの創出など、将来につなげる強い農業づくりについては事業の取り組みに遅れが見られる。

基本目標2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち

妊娠前から産前産後、そして子育てから子育て世代の交流、また放課後の子供たちの安全で健やかな場所づくりまで、切れ目のない子育てを応援する事業の取り組みが進んだ。

対して、結婚支援や広域連携による産科医師確保対策と病児病後児保育所の増設、また仕事と子育ての両立を応援する企業の奨励やショートステイやトワイライト事業といった必要な時に子供を預けられる環境整備については、取り組みの遅れが見られる。

基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるまち

市民参加型イベントの充実や広域連携による観光圏の形成、また茂原公園の魅力の向上や住民交流の拡大、さらにスポーツを通じたイベントや地域づくり等の活動や、まちの魅力を活かしたシティプロモーションと観光事業を中心とした賑わいづくりに関する取り組みが進んだ。

対して支援制度を利用した移住促進や社宅の整備による市内居住の促進、介護現場での人材育成と支援などの取り組みに遅れが見られる。

基本目標4 地域力が暮らしを支えるまち

子育て家庭における子どもを守る災害対策や高齢者の交通安全対策、また市民活動支援センターの設置をはじめとした市民活動の支援や圏央道へのアクセス向上、さらには安全安心パトロールや防犯カメラの効果的な設置により刑法犯罪や交通事故の発生件数が減少し、安心・安全に暮らせるまちづくりが進んだ。

対して、地図情報を活用した双方向のコミュニケーションや高速路線バスの拡充による利便性の向上の取り組みに遅れが見られる。

全体総括

数値目標や重要業績指標（KPI 値）における A 評価は約 3～4 割となっているが、事業の進捗状況については、156 事業の内、約 6 割の 91 事業が A 評価として順調に進捗し、進捗に一部遅れがある B 評価の 17 を含めると、約 7 割の事業が進んでいる。

全体の総括としては、市内への企業立地や創業支援への取り組み、妊娠前から産前産後、そして子育て世代の交流から放課後の子供たちの安全で健やかな場所づくりまで、切れ目のない子育てを応援するまちづくりへの取り組み、市民参加型イベントの充実や市民活動支援センターの設置をはじめとした活発な市民活動を推進する取り組みが進んだ。

対して、他市町村と連携して行う地域ブランド創出や産科医師確保対策等の広域連携事業や将来につなげる強い農業づくり、地元企業への就職を促進する支援に関する取り組みについては遅れが見られる。

(1)総合戦略における令和元年度の効果検証について（数値目標とKPIの実績値）

基本目標 1 産業が力強く成長するまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評価
市内事業所数 (法人市民税申告事業者数)	3,598 (2,151)	3,800	3,303 (H28) (2,215)	3,303 (H28) (2,215)	C
市内従業者数	36,560	40,000 (H30)	33,661 (H28)	33,661 (H28)	C
「雇用の場が確保されている」と思う市民の割合	10.70%	15.00%	11.00%	11.00%	C

2. 重要業績評価指標 (KPI) の実績値

(1) 成長産業の立地促進	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 茂原にいはる工業団地を核とした企業立地						
□ 茂原にいはる工業団地への企業立地件数	—	2社(累計)	3社	6社	A	A
□ 本社機能を本市に移転した企業数	—	2社(累計)	1社	1社	B	
② 地域資源を活かした新産業の創出						
□ 起業・創業の支援件数	—	23件(累計)	6件	25件	A	B
□ 新たな製品開発の取り組みへの支援件数	—	9件(累計)	0件	1件	C	
(2) 市内産業の競争力強化	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 市内企業の生産性向上及び販路拡大						
□ 知的財産・特許権等取得の支援件数	—	9件(累計)	0件	1件	C	B
□ 販路拡大の取り組みへの支援件数	—	27件(累計)	4件	22件	A	
② ICTを活用したビジネスチャンスの拡大						
□ インターネットを利用し、新たに店舗や商品の情報を発信する企業数	—	45社(累計)	4社	20社	B	A
□ 地図情報システムへのアクセス数	—	10,000件(単年)	23,156件	459,475件	A	
③ 商店街の活性化の推進						
□ 支援制度の利用による空き店舗への出店件数	2件	7件(累計)	2件	5件	A	B
□ 商店街への入込客数	3,500人	4,255人(単年)	3,014人	3,518人	C	
④ 将来につなげる強い農業づくり						
□ 認定農業者数	47件	70件(単年)	51件	53件	C	B
□ 農業分野への企業参入数	—	1件(累計)	0件	1件	A	

※数値目標（単年）の結果は5年間の最大値を掲載。

評価基準：A（数値目標に対する実績値が70%以上）

B（数値目標に対する実績値が40%～70%）

C（数値目標に対する実績値が40%未満）

		評価計
A, A A, B	→	A
A, C B, B	→	B
B, C C, C	→	C
		2
		4
		0

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（数値目標とKPIの実績値）

基本目標2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H25)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評価
合計特殊出生率	1.25	1.40	1.24 (H30)	1.24 (H30)	C
子育てを「楽しいと感じることの方が多し」市民の割合（※）	59.20%	70.0%	68.4%	68.4%	A

※茂原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査（平成25年10月）

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

(1) 結婚・出産の希望に応える支援の充実	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 未婚化・晩婚化への対応策の充実						
□ セミナーや講座への参加人数	—	50人(単年)	0人	0人	C	B
□ イベント「出会いの広場」を通じた成婚件数	1件	3件(単年)	1件	2件	A	
② 健やかな妊娠と出産の実現						
□ 周産期～乳幼児期における保健センターでの相談支援件数	581件	750件(単年)	2,290件	2,423件	A	A
□ 特定不妊治療費等助成金交付件数	—	60件(単年)	45件	64件	A	
(2) 安心して子育てできる環境づくり	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 子育てしやすい家庭づくり						
□ 家庭づくり関連講座の参加人数	204人	630人(単年)	398人	629人	A	A
② 子育てを地域で支える環境づくり						
□ 子育て支援施設の整備数	10箇所	40箇所(累計)	0箇所	10箇所	C	C
□ 子育て応援企業の認定事業所数	—	50箇所(累計)	0箇所	0箇所	C	
③ 子どもの健康な心と身体の育成						
□ 地域交流イベントの参加者数	4,800人	6,500人(単年)	5,763人	5,763人	A	A
□ 放課後子ども教室・放課後児童クラブの連携箇所数	3箇所	6箇所(累計)	0箇所	6箇所	A	
④ 子育ての公的支援の充実						
□ 不定期事業（延長保育など）の利用者割合	13.30%	20%(単年)	7.63%	9.48%	C	C

※数値目標（単年）の結果は5年間の最大値を掲載。

評価基準：A（数値目標に対する実績値が70%以上）

B（数値目標に対する実績値が40%～70%）

C（数値目標に対する実績値が40%未満）

		評価計
A, A A, B	→	A
A, C B, B	→	B
B, C C, C	→	C
		3
		1
		2

(1)総合戦略における令和元年度の効果検証について（数値目標とKPIの実績値）

基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評価
20～39歳の社会移動数	▲256人 (H23～27平均)	▲123人 (H27～R2平均)	▲221人	▲156人 (H27～R1平均)	A
有効求人倍率（ハローワーク茂原）	0.55倍	0.80倍	1.01倍	1.14倍	A
観光入込客数（延べ人数）	1,290,725人	1,587,000人	1,340,016人	1,363,933人	C

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

(1) 生活基盤の安定による移住・定住の促進	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 住まいの取得支援による移住の促進 □ 支援制度を利用した世帯人数の合計	—	400人(累計)	54人	93人	C	C
② 地元企業への就職による定住の促進 □ 市内企業に就業する市民の割合 □ インターンシップへの参加支援人数	32.70% —	40%(単年) 50人(累計)	29.50% 0人	29.50% 0人	C C	C
③ 生活に必要な情報の効果的な提供 □ 茂原市を「住みよい」と感じている市民の割合	62.10%	75%(単年)	59.20%	59.20%	C	C
(2) まちの魅力を活かした賑わいづくり	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 地域資源を活かした交流人口の拡大 □ 地域連携による観光振興事業数 □ 茂原公園における各種イベント参加人数	10回 7万人	15回(単年) 15万人(単年)	6回 13万人	10回 18万人	C A	B
② スポーツで培う市民の活力と賑わいづくり □ スポーツイベントの参加人数 □ 総合型地域スポーツクラブの設立数	4,500人 —	6,000人(単年) 4団体(累計)	7,300人 0団体	11,027人 1団体	A C	B
③ まちの魅力の発信 □ 茂原市観光協会HPの閲覧数 □ 本市の認知度（1都2県住民）	155,000回 53.30%	400,000回(単年) 65%(単年)	144,516回 —	419,078回 —	A —	A

※数値目標（単年）の結果は5年間の最大値を掲載。

評価基準：A（数値目標に対する実績値が70%以上）

B（数値目標に対する実績値が40%～70%）

C（数値目標に対する実績値が40%未満）

		評価計
A, A A, B	→	A
A, C B, B	→	B
B, C C, C	→	C
		1
		2
		3

(1)総合戦略における令和元年度の効果検証について（数値目標とKPIの実績値）

基本目標4 地域力が暮らしを支えるまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H27)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	
茂原市に誇りや愛着を持っている市民の割合	47.70%	70.0%	47.30%	C
茂原市に「ずっと住み続けたい」市民の割合	41.40%	60.0%	35.90%	C
地域行事等へ「参加している」市民の割合	33.10%	50.0%	20.90%	C

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

(1) 市民が主体的に取り組む住みよいまちづくり	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 活発な市民活動の推進						
□ 市民活動支援センターにおける窓口での相談支援件数	—	50件(単年)	82件	82件	A	A
□ 市民活動団体の登録数	—	20件(累計)	6件	26件	A	
② ICTを活用した地域の課題解決の促進						
□ 地図情報システムによるオープンデータ数	—	32件(累計)	25件	51件	A	B
□ 地図情報システムによる市民・企業からの地域の情報発信数	—	6件(累計)	0件	0件	C	
(2) 安心・安全に暮らせるまちづくり	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 防災・防犯・交通安全対策の充実						
□ 刑法犯罪認知件数	1,053件	780件(単年)	489件	489件	A	A
□ 交通事故の発生件数	440件	314件(単年)	280件	280件	A	
(3) 地域をつなぐ交通網の形成と利便性の向上	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値 (R1)	結果 (H27-R1)	評 価	
① 快適で使いやすい交通ネットワークの構築						
□ 市民バス・デマンド交通の合計利用者数	13,872人	17,386人(単年)	23,182人	23,182人	A	A
② 圏央道の利活用による利便性の向上						
□ 圏央道ICの出入量	220万台	253万台(単年)	284万台	284万台	A	A
□ 高速路線バス利用者数	74,842人	86,000人(単年)	67,858人	81,749人	B	

※数値目標（単年）の結果は5年間の最大値を掲載。

評価基準：A（数値目標に対する実績値が70%以上）

B（数値目標に対する実績値が40%～70%）

C（数値目標に対する実績値が40%未満）

		評価計
A, A A, B	→	A
A, C B, B	→	B
B, C C, C	→	C
		4
		1
		0

評価合計（数値目標の実績値）

基本目標	A	B	C	計
1 産業が力強く成長するまち	0	0	3	3
2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち	1	0	1	2
3 市民の活力と賑わいにあふれるまち	2	0	1	3
4 地域力が暮らしを支えるまち	0	0	3	3
計	3	0	8	11

評価合計（重要業績評価指標の実績値）

基本目標	A	B	C	計
1 産業が力強く成長するまち	2	4	0	6
2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち	3	1	2	6
3 市民の活力と賑わいにあふれるまち	1	2	3	6
4 地域力が暮らしを支えるまち	4	1	0	5
計	10	8	5	23

(1)総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標 1 産業が力強く成長するまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値				
			H27	H28	H29	H30	R1
市内事業所数	3,598	3,800	-	3,303	-	-	-
（法人市民税申告事業者数）	2,151	-	2,161	2,184	2,209	2,201	2,215
市内従業者数	36,560	40,000	-	33,661	-	-	-
「雇用の場が確保されている」と思う市民の割合	10.7%	15.0%	-	-	-	-	11.0%

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					
			H27	H28	H29	H30	R1	
(1) 成長産業の立地促進								
① 茂原にはる工業団地を核とした企業立地 評価 A								
□ 茂原にはる工業団地への企業立地件数	-	2社(累計)	0社	0社	6社	0社	0社	A
□ 本社機能を本市に移転した企業数	-	2社(累計)	0社	0社	0社	0社	1社	B
○企業立地促進事業 進捗状況								
・茂原にはる工業団地の整備	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・企業情報の収集強化と効果的な誘致活動の実施	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・企業立地奨励金の交付	商工観光課		○	○	○	○		a
○本社機能の移転促進と移転に伴う移住促進								
・本社機能移転に対する優遇措置の創設	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・社宅の整備支援による市内居住の促進	商工観光課							c
② 地域資源を活かした新産業の創出 評価 B								
□ 起業・創業の支援件数	-	23件(累計)	9件	3件	5件	2件	6社	A
□ 新たな製品開発の取り組みへの支援件数	-	9件(累計)	0件	0件	1件	0件	0社	C
○創業支援事業計画に基づく創業支援 進捗状況								
・相談窓口の充実によるワンストップ化	商工観光課			○	○	○	○	a
・茂原商工会議所と連携した創業支援セミナーの開催	商工観光課			○	○	○	○	a
・関係機関との連携強化と切れ目のない支援の実施	商工観光課			○	○	○	○	b
○中小企業者等のニーズに応じた総合的な支援								
・起業、創業時の経済的負担の軽減	商工観光課		○	○	○	○	○	a
○天然ガスの利活用による新たな産業の創出								
・天然ガスを利用した新たな企業立地の調査	商工観光課							c
○課題解決型の新たな産業の創出								
・農産物を原材料とした商品を製造する新たな企業の立地	農政課						○	c
	商工観光課							
・駆除動物(イノシシ肉等)を活用した商品の開発	農政課							c
・再生水の利用による工業用水の確保	商工観光課							c
・ドローンの利活用による新たな産業の創出	企画政策課				○	○		c

(1)総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標 1 産業が力強く成長するまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					評価
			H27	H28	H29	H30	R1	
(2) 市内産業の競争力強化								
① 市内企業の生産性向上及び販路拡大								B
□ 知的財産・特許権等取得の支援件数	—	9件(累計)	0件	0件	1件	0件	0件	C
□ 販路拡大の取り組みへの支援件数	—	27件(累計)	4件	3件	4件	7件	4件	A
○中小企業者等のニーズに応じた総合的な支援								進捗状況
・規格等(ISO, エコアクション21)認証取得のための支援	商工観光課		○	○	○	○	○	c
・知的財産、特許権等取得のための支援	商工観光課		○	○	○	○	○	c
・商品(技術)開発支援	商工観光課		○	○	○	○	○	c
・企業の人材育成に対する支援	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・企業情報発信のための支援	商工観光課		○	○	○	○	○	c
・販路拡大のための支援	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・企業間のビジネスマッチングの促進	商工観光課				○	○	○	c
② ICTを活用したビジネスチャンスの拡大								B
□ インターネットを利用し、新たに店舗や商品の情報を発信する企業数	—	45社(累計)	3社	5社	4社	4社	4社	B
□ 地図情報システムへのアクセス数	—	10,000件(単年)	未	未	18,753件	459,475件	23,156件	A
○中小企業者等のニーズに応じた総合的な支援								進捗状況
・企業情報発信のための支援	商工観光課		○	○	○	○	○	a
○行政データの公開とその利活用による活性化								
・安心安全地図情報システムの構築	総務課			○	○	○	○	a
・地図情報システムを活用した行政情報のオープンデータ化	総務課			○	○	○	○	a
・オープンデータの利活用による企業活動の活性化	商工観光課							c
③ 商店街の活性化の推進								B
□ 支援制度の利用による空き店舗への出店件数	2件(H26)	7件(累計)	0件	0件	0件	3件	2件	A
□ 商店街への入込客数	3,500人(H26)	4,255人(単年)	未	3,518人	未	1,534人	3,014人	C
○商店街の賑わいの創出								進捗状況
・空き店舗対策の拡充	商工観光課		○	○	○	○	○	c
・賑わいを創出するイベントの実施支援の拡充	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・魅力ある商品の販売と情報発信支援	商工観光課		○	○	○	○	○	a

(1)総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標 1 産業が力強く成長するまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					評価
			H27	H28	H29	H30	R1	
④ 将来につながる強い農業づくり								
□ 認定農業者数	47件 (H26)	70件(単年)	49件	50件	52件	53件	51件	C
□ 農業分野への企業参入数	—	1件(累計)	1件	0件	0件	0件	0件	A
○担い手の育成と経営力の強化								進捗状況
・新規就農者の経営安定化のための給付金の支給	農政課		○		○	○	○	a
・認定農業者の育成	農政課							c
・付加価値の高い農産物の作付け支援	農政課					○	○	c
・消費者需要の把握と、需要に適合した農産物の栽培促進	農政課				○			c
○企業参入による農地利用の促進								
・企業参入による遊休農地の解消や農地集積の促進	農政課					○	○	b
○広域連携による地域ブランドの創出								
・各地域の農地に適合した特色ある農産物の栽培促進	農政課							c
○有害鳥獣駆除事業の広域連携による効率化の推進								
・民間企業を活用した持続的な駆除事業の実施	農政課			○		○	○	a
・効果的で効率的な駆除の実施に向けた広域連携の推進	農政課						○	c
○消費者との交流機会の拡大								
・六斎市への出店者数の増加と賑わいの復活	農政課				○	○	○	b
・消費者需要の把握と、需要に適合した農産物の栽培促進	農政課				○	○	○	c
合計（38項目）	取組項目数		16	21	26	28	28	
	取組率		42.11%	55.26%	68.42%	73.68%	73.68%	
	費用（千円）		555,624	716,554	866,127	264,558	39,626	

3. 主要事業の進捗状況

施策の基本的方向性	進捗状況			合計
	a 順調に進捗している (70%以上)	b 進捗に一部遅れがある (40%~70%)	c 未実施又はかなり遅れがある (0%~40%)	
成長産業の立地促進	7	1	6	14
市内産業の競争力強化	9	2	13	24
計	16	3	19	38

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H26)	数値目標 (R2)	実績値				
			H27	H28	H29	H30	R1
合計特殊出生率	1.25	1.40	1.35	1.25	1.24	1.24	-
子育てを「楽しいと感じることの方が多い」市民の割合	59.20%	70.00%	-	-	-	-	68.4%

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					評価
			H27	H28	H29	H30	R1	
(1) 結婚・出産の希望に応える支援の充実								
① 未婚化・晩婚化への対応策の充実								
□ セミナーや講座への参加人数	-	50人(単年)	0人	0人	0人	0人	0人	B
□ イベント「出会いの広場」を通じた成婚件数	1件 (H24)	3件(単年)	0件	0件	2件	0件	1件	C
○総合的な結婚支援の推進								
・相談窓口の充実	生活課							c
・地域における世話人の育成	生活課							c
・セミナーや講座の開催	生活課							c
・出会いの場の拡充	生活課			○	○	○	○	a
② 健やかな妊娠と出産の実現								
□ 周産期～乳幼児期における保健センターでの相談支援件数	581件 (H25)	750件(単年)	667件	2,160件	2,423件	2,400件	2,290件	A
□ 特定不妊治療費等助成金交付件数	-	60件(単年)	64件	41件	42件	39件	45件	A
○妊娠出産に対する知識の深化と健康増進								
・中学校における思春期教育の充実	健康管理課				○	○	○	a
	学校教育課				○	○	○	
・婦人病についての知識の普及	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・婦人病予防検診受診率の向上	健康管理課		○	○	○	○	○	a
○妊娠の希望に応える支援								
・妊活支援	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・特定不妊治療費に対する助成	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・男性の不妊検査費及び治療費に対する助成	健康管理課		○	○	○	○	○	a
○産前産後サポートセンターによる妊産婦支援								
・産前産後サポートセンターの設置	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・助産師や保健師への相談による不安の軽減	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・助産師や保健師の専門的助言による知識の向上	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・先輩お母さんや妊産婦同士との交流促進	健康管理課		○	○	○	○	○	a
○広域連携による産科医師確保対策の実施								
・医師確保対策基金の創設	健康管理課							c
・奨学金の貸与による産科医師の育成	健康管理課							c
・給付型奨学金による産科医師の確保	健康管理課							c
・新たに域内で開業する際の資金援助制度の構築	健康管理課							c

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					評価
			H27	H28	H29	H30	R1	
(2) 安心して子育てできる環境づくり								
① 子育てしやすい家庭づくり								評価
□ 子育てしやすい家庭づくり □ 家庭づくり関連講座の参加人数	204人 (H26)	630人(単年)	619人	629人	568人	516人	398人	A
○新婚家庭における健康づくりの促進								進捗状況
・食を通じた健康な身体づくり	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・妊娠期の健康に関する知識の習得と予防	健康管理課		○	○	○	○	○	a
○子育てしやすい家庭づくりの促進								
・夫婦間のパートナーシップ養成	健康管理課		○	○	○	○	○	a
・ママパパ教室の充実	健康管理課		○	○	○	○	○	a
○子育て情報の効果的な提供								
・スマホアプリを活用した効果的な情報配信	子育て支援課		○	○	○	○	○	b
	健康管理課		○	○	○	○	○	
	企画政策課							
② 子育てを地域で支える環境づくり								評価
□ 子育て支援施設の整備数	10箇所 (H26)	40箇所(累計)	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	C
□ 子育て応援企業の認定事業所数	—	50箇所(累計)	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	C
○子ども連れで外出しやすい環境づくり								
・安心安全地図情報システムの構築	総務課			○	○	○	○	a
・子育て支援施設（授乳室, おむつ替えスペース等）の整備支援	子育て支援課						○	b
・子連れで安心お出かけマップの作成	子育て支援課			○	○	○	○	b
・移動式赤ちゃんステーションの貸出	子育て支援課				○	○	○	a
	生活課				○	○	○	
○仕事と子育ての両立を応援する企業の奨励								
・子育て応援企業の認定制度の構築	子育て支援課							c
	商工観光課							
・子育て応援認定企業の優遇措置の検討と導入	子育て支援課							c
	商工観光課							
③ 子どもの健康な心と身体の育成								評価
□ 地域交流イベントの参加者数	4,800人 (H26)	6,500人(単年)	4,904人	4,318人	4,787人	5,533人	5,763人	A
□ 放課後子ども教室・放課後児童クラブの連携箇所数	3箇所 (H26)	6箇所(累計)	0箇所	2箇所	0箇所	1箇所	0箇所	A
○子育て世代の交流の促進								進捗状況
・地域子育て支援拠点の増設	子育て支援課		○	○	○	○	○	a
・地域交流イベントの開催	子育て支援課		○	○	○	○	○	a
・開かれた保育所づくり(園庭開放, 保育備品の貸し出し)	子育て支援課		○	○	○	○	○	a
○幼児期における教育内容の充実								
・スポーツを通じた体力の向上	子育て支援課		○	○	○	○	○	a
	体育課				○	○	○	
・音楽表現力の育成	子育て支援課		○	○	○	○	○	b

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標2 結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値						
			H27	H28	H29	H30	R1		
○確かな学力の育成を目指した教育内容の充実									
・ELTの配置による小学校3年生からの英語教育の実施	学校教育課		○	○	○	○	○	a	
・学校図書館の充実と学校司書の配置	学校教育課			○	○	○	○	a	
○放課後等の子どもたちの安全で健やかな居場所づくり									
・学童保育への民間企業の参入促進	子育て支援課				○	○	○	c	
・小学校の余裕教室の利活用	子育て支援課				○	○	○	b	
	教育総務課								
・放課後子どもプランの充実と推進	子育て支援課		○	○	○	○	○	a	
	生涯学習課		○	○	○	○	○		
④ 子育ての公的支援の充実								評価	
□ 不定期事業（延長保育など）の利用者割合	13.3% (H25)	20% (単年)	9.24%	8.35%	8.96%	9.48%	7.63%	C	
○必要な時に子どもを預けられる環境の整備								進捗状況	
・延長保育事業の拡充	子育て支援課			○	○	○	○	b	
・ショートステイ事業の実施	子育て支援課							c	
・トワイライト事業の実施	子育て支援課							c	
・ファミリーサポートセンターの設置	子育て支援課						○	○	b
○病児病後児保育の広域化と利便性の向上									
・広域連携による病児病後児保育所の増設	子育て支援課							○	b
・公立長生病院への拠点的病児病後児保育所の開設	子育て支援課								c
○子育て世帯の経済的負担の軽減									
・モバリンググッズと子育て応援チケットの配布	子育て支援課		○	○	○	○	○	a	
・保育料の軽減	子育て支援課							○	c
○妊娠期から子育て期にわたるまでのワンストップサービスの整備									
・母子健康包括支援センターの設置	健康管理課				○	○	○	a	
合計（48項目）	取組項目数		22	27	32	33	36		
	取組率		45.83%	56.25%	66.67%	68.75%	75.00%		
	費用（千円）		83,771	106,722	47,123	50,479	53,137		

3. 主要事業の進捗状況

施策の基本的方向性	進捗状況			合計
	a 順調に進捗している (70%以上)	b 進捗に一部遅れがある (40%~70%)	c 未実施又はかなり遅れがある (0%~40%)	
結婚・出産の希望に応える支援の充実	11	0	7	18
安心して子育てできる環境づくり	15	8	7	30
計	26	8	14	48

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値	数値目標 (R2)	実績値				
			H27	H28	H29	H30	R1
20～39歳の社会移動数	▲256人 (H23～H27平均)	▲123人 (H27～R2平均)	▲274人	▲44人	▲118人	▲127人	▲221人
有効求人倍率（ハローワーク茂原）	0.55倍	0.8倍	0.77倍	0.86倍	1.03倍	1.14倍	1.01倍
観光入込客数（延べ人数）	1,290,725人	1,587,000人	1,298,598	1,363,933	1,359,688	1,256,740	1,340,016

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					
			H27	H28	H29	H30	R1	
(1) 生活基盤の安定による移住・定住の促進								
① 住まいの取得支援による移住の促進								評価 C
□ 支援制度を利用した世帯人数の合計	—	400人(累計)	—	—	24人	15人	54人	C
○三世帯同近居支援による移住促進								進捗 状況
・建物の新築又は増改築等の費用の助成 (市内建設業者が施工する場合は上乘せ支援を実施)	建築課				○	○	○	c
② 地元企業への就職による定住の促進								評価 C
□ 市内企業に就業する市民の割合	32.7% (H27)	40%(単年)	—	—	—	—	29.5%	C
□ インターンシップへの参加支援人数	—	50人(累計)	0人	0人	0人	0人	0人	C
○雇用促進奨励金の交付による地元雇用の促進								進捗 状況
・地元住民の新規雇用者数に応じた奨励金の交付	商工観光課						○	a
○企業の人材確保・育成に対する支援								
・インターンシップの導入による雇用の定着支援	商工観光課		○	○	○	○	○	a
○社宅の整備支援による市内居住の促進								
・社宅の整備支援による市内居住の促進	商工観光課							c
○介護現場での人材育成と定着支援								
・介護現場や介護職に対する理解の深化	高齢者支援課		○	○	○	○	○	b
・ハローワーク等関係機関との連携強化による人材確保対策の充実	高齢者支援課		○	○	○	○	○	b
・介護従事者に対する相談体制の整備	高齢者支援課							c
・事業者間の連携強化による離職対策の充実	高齢者支援課							c
③ 生活に必要な情報の効果的な提供								評価 C
□ 茂原市を「住みよい」と感じている市民の割合	62.1% (H27)	75%(単年)	—	—	—	—	59.2%	C
○効果的で効率的な生活情報の提供による移住定住促進								進捗 状況
・安心安全地図情報システムの構築	総務課			○	○	○	○	a
・「もばら生活ガイドブック」の改訂	秘書広報課		○	○	○	○	○	a
・地図情報システムを活用した「もばら生活ガイドブック」の情報発信	秘書広報課		○	○	○	○	○	b
・茂原ならではの移住関連情報の一元的な収集と提供	企画政策課			○	○	○	○	a

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					評価
			H27	H28	H29	H30	R1	
(2) まちの魅力を活かした賑わいづくり								
① 地域資源を活かした交流人口の拡大								
□ 地域連携による観光振興事業数	10回 (H27)	15回(単年)	10回	10回	9回	9回	6回	B C
□ 茂原公園における各種イベント参加人数	7万人 (H25)	15万人(単年)	16万人	14万人	14万人	18万人	13万人	A
○既存の観光イベントの活性化								
・ 市民参加型イベントの充実	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・ 親子で参加する機会の拡充	商工観光課		○	○	○	○	○	a
○広域連携による観光圏の形成								
・ 長生地域観光連盟を活かした地域間連携の強化	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・ 中房総観光推進ネットワーク協議会を活かした地域間連携の強化	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・ 県境を越えた観光交流の促進	商工観光課		○	○	○	○	○	b
○茂原公園の魅力向上と住民交流の拡大								
・ 多世代が行き交う公園としての再生計画の策定と改修	都市整備課		○	○	○	○	○	a
・ 茂原公園の桜の再生	都市整備課		○	○	○	○	○	a
・ イベントの開催による交流の場の創出	都市整備課			○	○	○	○	a
	商工観光課 美術館・郷土資料館		○	○	○	○	○	
・ 茂原公園での芸術空間の演出	都市整備課					○	○	c
	美術館・郷土資料館							
・ 来場者向け休憩スペースの設置	都市整備課				○	○	○	c
	美術館・郷土資料館							
・ 茂原市立美術館・郷土資料館のPR強化	美術館・郷土資料館			○	○	○	○	a
○六斎市の活性化による賑わいの創出								
・ 市民参加の拡大と協働による活性化	農政課				○	○	○	b
・ 市内企業の参入促進	農政課					○	○	b
② スポーツで培う市民の活力と賑わいづくり								
□ スポーツイベントの参加人数	4,500人 (H26)	6,000人(単年)	6,090人	5,667人	11,027人	7,298人	7,300人	A
□ 総合型地域スポーツクラブの設立数	—	4団体(累計)	0団体	0団体	1団体	0団体	0団体	C
○興味や関心を高めるための啓発活動								
・ 郷土出身のスポーツ選手による講習会の開催	体育課				○	○	○	a
・ 関東、全国レベルの大会の誘致	体育課				○	○	○	a
・ 魅力を伝えるスポーツ情報の発信	体育課				○	○	○	a
○スポーツを通じた健康寿命の延伸								
・ 中高齢者の健康増進のためのトレーニング機器の整備	体育課				○	○	○	a
	健康管理課							
・ 健康寿命の延伸に向けた運動教室の開催	健康管理課					○	○	a
	高齢者支援課		○	○	○	○	○	
	体育課		○	○	○	○	○	
・ 健康ポイント制度の導入	健康管理課							c
	体育課							

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					
			H27	H28	H29	H30	R1	
○スポーツ活動の推進と参加機会の充実								
・スポーツイベントの拡充	体育課		○	○	○	○	○	a
・指導者養成講習会の開催	体育課		○	○	○	○	○	a
・学校体育施設の開放と利用促進	教育総務課							a
	体育課		○	○	○	○	○	
・サッカーやフットサルを楽しむ場の確保	体育課							c
○市民参画によるスポーツを通じた地域づくり								
・地域住民参加型スポーツクラブの設立支援	体育課				○	○	○	a
・地域まちおこしスポーツイベントの拡充	体育課				○	○	○	a
・地域住民によるスポーツボランティアの育成	体育課		○	○	○	○	○	a
・オリンピック、パラリンピックへの取組	体育課					○	○	a
	企画政策課			○	○	○	○	
③ まちの魅力の発信								評価
□ 茂原市観光協会HPの閲覧数	155,000回 (H26)	400,000回(単年)	384,818回	419,078回	406,696回	123,568回	144,516回	C
□ 本市の認知度（1都2県住民）	53.3% (H27)	65% (単年)	-	-	-	-	-	-
○シティプロモーションの積極的な展開								進捗状況
・「シティプロモーション戦略プラン」の策定と推進	企画政策課				○	○	○	a
・フィルムコミッションの推進	企画政策課			○	○	○	○	a
○観光情報の効果的な発信								
・観光ガイドブックの充実	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・茂原市観光協会への支援の拡充	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・圏央道沿線の主要施設におけるPRの強化	商工観光課		○	○	○	○	○	a
・Wi-Fi環境の整備	商工観光課							c
○地域の魅力発掘と情報発信								
・安心安全地図情報システムの構築	総務課			○	○	○	○	a
・地域の景観資源の整備と情報発信	都市計画課		○	○	○	○	○	a
・地域の文化財の整備と情報発信	生涯学習課		○	○	○	○	○	a
・地域イベントの支援と情報発信	生活課		○	○	○	○	○	a
	秘書広報課		○	○	○	○	○	
合計（49項目）	取組項目数		25	31	41	44	43	
	取組率		51.02%	63.27%	83.67%	89.80%	87.76%	
	費用（千円）		22,146	48,584	97,395	77,100	78,396	

3. 主要事業の進捗状況

施策の基本的方向性	進捗状況			合計
	a 順調に進捗している (70%以上)	b 進捗に一部遅れがある (40%~70%)	c 未実施又はかなり遅れがある (0%~40%)	
生活基盤の安定による移住・定住の促進	5	3	4	12
まちの魅力を活かした賑わいづくり	29	3	5	37
計	34	6	9	49

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標 4 地域力が暮らしを支えるまち

1. 数値目標の実績値

指 標	基準値 (H27)	数値目標 (R2)	実績値				
			H27	H28	H29	H30	R1
茂原市に誇りや愛着を持っている市民の割合	47.7%	70.0%	-	-	-	-	47.3%
茂原市に「ずっと住み続けたい」市民の割合	41.4%	60.0%	-	-	-	-	35.9%
地域行事等へ「参加している」市民の割合	33.1%	50.0%	-	-	-	-	20.9%

2. 重要業績評価指標（KPI）の実績値

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					評価
			H27	H28	H29	H30	R1	
(1) 市民が主体的に取り組む住みよいまちづくり								
① 活発な市民活動の推進								
□ 市民活動支援センターにおける窓口での相談支援件数	—	50件(単年)	-	19件	39件	65件	82件	A
□ 市民活動団体の登録数	—	20件(累計)	-	9件	7件	4件	6件	A
○市民の自発的な活動の促進								
・ 市民活動支援センターの設置	生活課				○	○	○	a
・ 市民活動団体の登録制度の構築	生活課				○	○	○	a
・ 市民活動団体の育成支援	生活課				○	○	○	a
・ 協働事業提案制度や市民活動支援事業の導入	生活課				○	○	○	a
② ICTを活用した地域の課題解決の促進								
□ 地図情報システムによるオープンデータ数	—	32件(累計)	-	-	26件	0件	25件	A
□ 地図情報システムによる市民・企業からの地域の情報発信数	—	6件(累計)	-	-	0件	0件	0件	C
○地図情報を活用した双方向コミュニケーションの創出								
・ 安心安全地図情報システムの構築	総務課				○	○	○	a
・ 地図情報システムを活用した行政情報のオープンデータ化	総務課				○	○	○	a
・ 市民、企業からの地域の情報発信	総務課							c
・ 市民協働による地域の課題解決	総務課						○	c
(2) 安心・安全に暮らせるまちづくり								
① 防災・防犯・交通安全対策の充実								
□ 刑法犯罪認知件数	1,053件(H26)	780件(単年)	1,131件	1,038件	803件	673件	489件	A
□ 交通事故の発生件数	440件(H26)	314件(単年)	441件	413件	340件	325件	280件	A
○子どもを守る災害対策の充実								
・ 乳幼児向け災害時備蓄品の充実	防災対策課		○	○	○	○	○	c
・ 子育て家庭における災害対策の普及、啓発	防災対策課		○	○	○	○	○	a
	子育て支援課						○	
○災害時の応急対策の充実								
・ 安心安全地図情報システムの構築	総務課				○	○	○	a
・ 地図情報システムを活用した災害時の効果的な情報発信	総務課				○	○	○	a
○見守りの強化による犯罪抑止力の向上								
・ 安全安心パトロールの拡充	生活課		○	○	○	○	○	a
・ 防犯カメラの効果的な設置と運用	生活課		○	○	○	○	○	a

(1) 総合戦略における令和元年度の効果検証について（主要事業の取組状況）

基本目標 4 地域力が暮らしを支えるまち

具体的な施策と主要事業	基準値 担当課	KPI	実績値					
			H27	H28	H29	H30	R1	
○高齢者を対象とした交通安全対策の推進								
・交通安全教室や地域行事を通じた啓発活動の充実	生活課		○	○	○	○	○	a
・活動の充実に向けた関係団体との連携強化	生活課		○	○	○	○	○	a
(3) 地域をつなぐ交通網の形成と利便性の向上								
① 快適で使いやすい交通ネットワークの構築								
□ 市民バス・デマンド交通の合計利用者数	13,872人(H26)	17,386人(単年)	13,962人	17,563人	21,092人	22,730人	23,182人	評価 A
○まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築								
・市民バスのノンステップ車両への更新	都市計画課				○	○	○	進捗状況 a
② 圏央道の利活用による利便性の向上								
□ 圏央道ICの出入量	220万台(H26)	253万台(単年)	225万台	246万台	260万台	273万台	284万台	評価 A
□ 高速路線バス利用者数	74,842人(H26)	86,000人(単年)	81,749人	78,046人	75,964人	75,828人	67,858人	B
○圏央道への更なるアクセスの向上								
・主要地方道千葉茂原線への(仮称)茂原長柄スマートICの整備	土木建設課		○	○	○	○	○	進捗状況 a
○高速路線バスの拡充による利便性の向上								
・にいほろ地区への高速バスターミナル設置に向けた検討	都市計画課							c
・羽田空港方面への利便性の向上と利用者拡大に向けた支援	都市計画課				○	○		c
・成田空港方面への新規高速バス路線の開設に向けた取り組み	都市計画課							c
合計 (21項目)	取組項目数		7	11	17	17	17	
	取組率		33.33%	52.38%	80.95%	80.95%	80.95%	
	費用(千円)		290,859	270,802	257,777	193,011	309,631	

施策の基本的方向性	進捗状況			合計
	a 順調に進捗している (70%以上)	b 進捗に一部遅れがある (40%~70%)	c 未実施又はかなり遅れがある (0%~40%)	
市民が主体的に取り組む住みよいまちづくり	6	0	2	8
安心・安全に暮らせるまちづくり	7	0	1	8
地域をつなぐ交通網の形成と利便性の向上	2	0	3	5
計	15	0	6	21

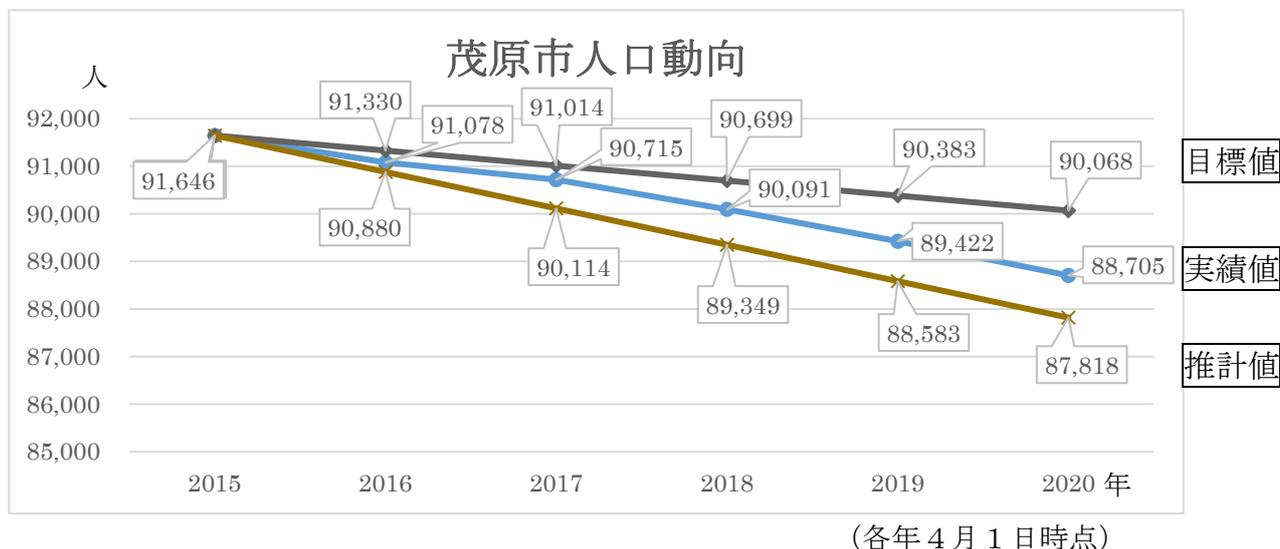
合計

基本目標	a 順調に進捗している (70%以上)	b 進捗に一部遅れがある (40%~70%)	c 未実施又はかなり遅れがある (0%~40%)	合計
産業が力強く成長するまち	16	3	19	38
結婚・妊娠・出産・子育てを応援するまち	26	8	14	48
市民の活力と賑わいにあふれるまち	34	6	9	49
地域力が暮らしを支えるまち	15	0	6	21
計	91	17	48	156

総合戦略における目標人口と実績値（総合戦略3ページ参照）

茂原市人口ビジョンにおいて、本市の人口は2040年には70,471人（推計値）になると推計した。そこで、総合戦略における各種施策の効果を想定し、将来展望として2040年の目標人口を85,000人（目標値）とした。2020年4月1日現在の人口動向については、目標値90,068人に対し、実績値が88,705人となり、1,363人下回った。

1. 目標人口と実績値等



2. 合計特殊出生率

市民の出産の希望をかなえる施策・事業を推進することで、合計特殊出生率を2040年には2.07（人口置換水準）を達成し維持することを目標とする。

2000年代	05-09	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-60
目標値	1.18	1.25	1.39	1.53	1.65	1.80	1.94	2.07
実績値	1.18	1.29	<u>1.27</u>					

2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	平均
1.35	1.25	1.24	1.24	<u>1.27</u>

3. 社会増減

単位（人）

年齢層	基準値 (2010-2014)	目標値 (2015-2019)	実績値 (2015-2019)
0~9歳	▲213	198	61
10~19歳	▲161	79	▲164
20~24歳	▲399	▲304	▲406
25~39歳	▲1,174	296	▲378
40~64歳	▲21	1,194	399
計	▲1,968	1,463	▲488

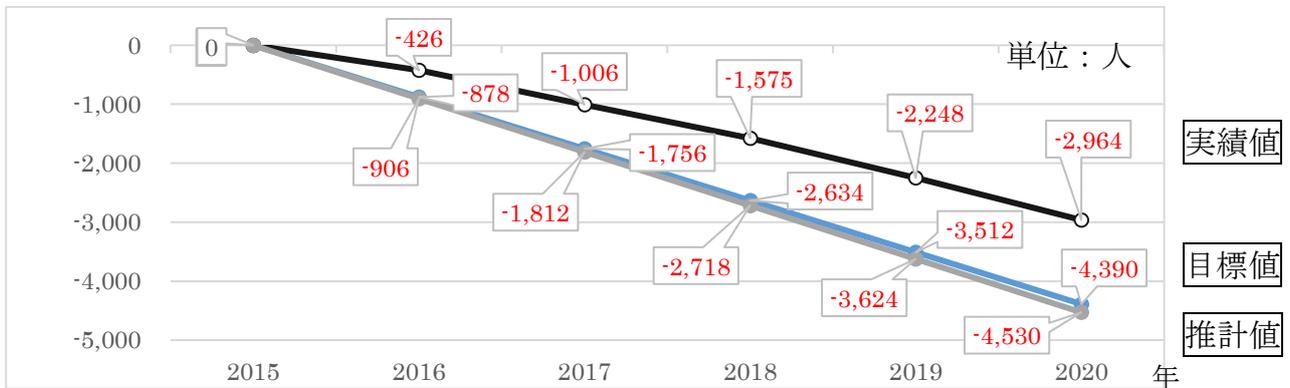
4. 茂原にはる工業団地の企業立地

にはる工業団地の企業立地件数は6社で整備は終了した。現在5社が操業し、1社がCOVID-19の影響により開始を見合している。雇用者数は約700名を見込むが、転入者数は未定である。

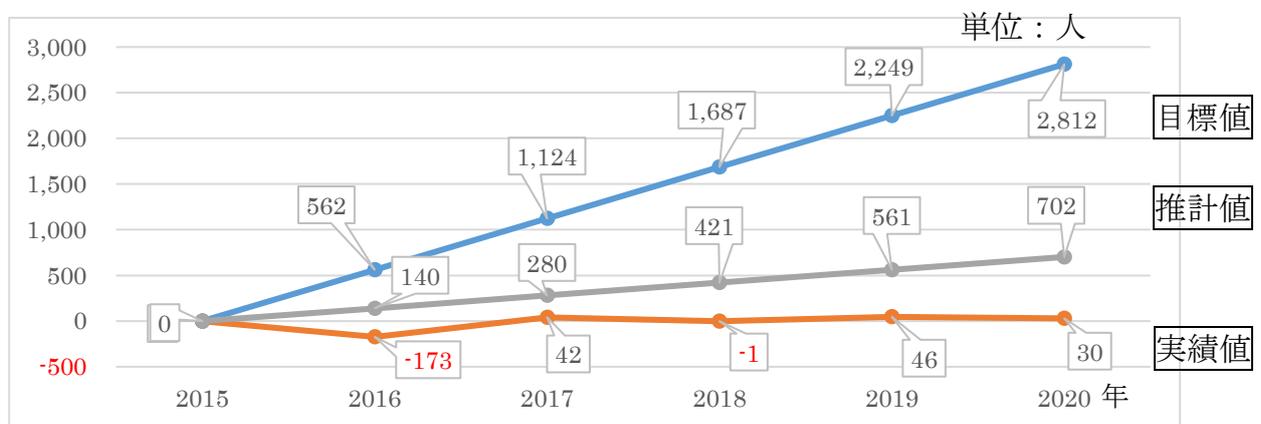
5. 目標人口と実績値の内訳

自然増減については、目標値▲4,390人に対し、実績値が▲2,964人となり、1,426人上回った。社会増減については、目標値2,812人に対し、実績値が30人となり、2,782人下回った。職権消除などその他▲7人を含め、目標人口を1,363人下回る結果となった。

(1) 自然増減数



(2) 社会増減数



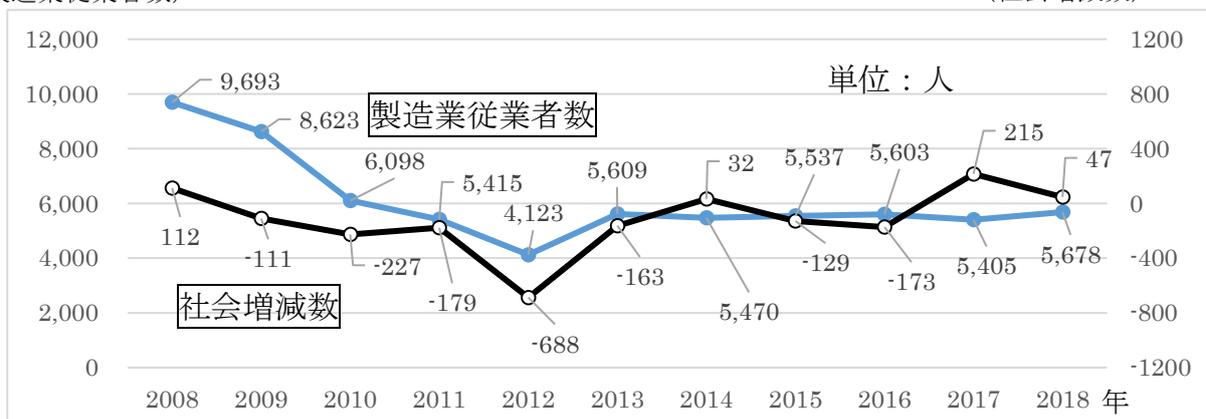
6. 製造業従業者動向と社会増減数

市内製造業従業者数は、2008年度のリーマンショック以降大きく減少し、2012年にパナソニック液晶ディスプレイ(株)と東芝コンポーネンツ(株)の撤退により最少となったが、2012年以降は沢井製薬(株)関東工場操業開始(2012年度末)や(株)ジャパンディスプレイ新生産ライン稼働(2013年度)により増加をみせ、その後安定して推移している。

社会増減については、製造業従業者数に大きく影響を受け、同じような動向で推移している。

(製造業従業者数)

(社会増減数)



令和元年度地方創生関連交付金の効果検証について

No	活用交付金・事業名	総合戦略上の位置づけ	事業内容	R1 予算額	R1 決算額	一般財源	交付金 ・寄附	KPI(重要業績指標)	R1年度末 目標値	実績値	事業評価
1	地方創生 拠点整備交付金 「農産物直売所を 起点とした魅力 ある農業創出 事業」	基本目標1 産業が力強く成長するまち (2)市内産業の競争力強化 ④将来につなげる強い農業づくり	平成29年度に整備した約100坪の新店舗を活用し、新規組合員の加入による農業者数の増加、6次産業化の推進、試作や研修を行うスペースの設置、また、セミナー等の開催による人材育成にも取り組むことにより、地域農業の更なる振興を図る。 事業年度：平成28年度～令和2年度 (農政課) 平成29年度に「旬の里ねぎぼうず」を整備。 決算額(107,346千円)	0	0	0	0	①年間売上げ500万円以上の 組合員数の増 ②組合員の内、UIJターンによ り新規農業者となった者の数 の増 ③人農地プラン担い手数の増	① 1人 ② 1人 ③ 1人	① ▲1人 ② 0人 ③ 0人	C
2	地方創生 推進交付金 「地域資源を活 用したシティプロ モーションと移住 定住促進プロ ジェクト」	基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるま ち (2)まちの魅力を活かした賑わい づくり ③まちの魅力を発信	茂原市にある地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致・支援を行うことで、作品を通じた情報発信により、茂原市の魅力や認知度の向上を目指す。また、ロケツーリズムをの推進により「選ばれるまち」として移住・定住人口の増加を図る。 事業年度：平成30年度～令和2年度 (企画政策課) ・茂原市ロケツーリズム支援業務委託 予算額(12,700千円) 決算額(12,630千円)	12,700	12,630	6,315	6,315	①社会増減の数(転入数―転 出数)の増 ②観光入込客数の増 ③商店街への入込客数の増	① 10人 ②150,000人 ③ -	① 32人 ②▲18,984人 ③ -	B
3	地方創生 応援税制 (企業版ふるさと 納税) 「スポーツで茂原 元気プロジェク ト」	基本目標3 市民の活力と賑わいにあふれるま ち (2)まちの魅力を活かした賑わい づくり ②スポーツで培う市民の活力と賑 わいづくり	茂原市市民体育館のトレーニング室の設備更新及び最新の設備を利用したトレーニング教室の開催、様々なスポーツイベントの開催により、スポーツを楽しむ健康で活気あるまちとしての魅力を発信する。 事業年度：平成29年度～令和元年度 (体育課) ・トレーニング室インストラクター委託 予算額 (500千円) 決算額 (391千円)	500	391	391	0	①スポーツイベントの参加人数 ②転入超過数(転入者数-転出 者数)	①8,200人 ②215人	①7,340人 ②▲11人	B

事業評価基準：A(地方創生に非常に効果的であった。)、B(地方創生に相当程度効果があった。)

C(地方創生に効果があった。)、D(地方創生に対して効果がなかった。)

令和2年度新規事業

No	活用交付金・事業名	総合戦略上の位置づけ	事業内容	寄附目安額	一般財源	KPI(重要業績指標)	実績値	事業評価
1	地方創生 応援税制 (企業版ふるさと 納税) 「茂原市まち・ひ と・しごと創生推 進計画」	茂原市まち・ひと・しごと創生総合 戦略に掲げる全事業	総合戦略に掲げる課題に対応するため、4つの基本目標に基づいた事業を行う。 事業年度：令和2年度～令和6年度 (実施予定事業) 映画撮影を活用したシティプロモーション事業 映画の制作を通じて、茂原市からの情報発信力を高め、茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた関係人口の増加を目指す。	30,000 (R2～R6累計)		茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる 数値目標11項目	-	-

茂原市 地方創生に関する市民意識調査 アンケート結果 概要版

この調査は、地方創生に関する意識・意向や生活実態などを総合的に把握し、平成27年度に実施した市民意識調査の結果と比較することで、「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証や次期総合戦略の策定のための資料を得ることを目的として実施した。

市内在住の20歳以上の男女1,000人を対象に実施し、377件の回答を得た（回収率37.7%）。

調査結果

1. 回答者の属性

①性別						②年齢					
		回答数	R2	H27	増減			回答数	R2	H27	増減
1	男性	150	42.7%	40.2%	2.5%	1	24歳以下	20	5.3%	4.2%	1.1%
2	女性	201	57.3%	59.8%	-2.5%	2	25～34歳	57	15.2%	12.4%	2.8%
						3	35～44歳	62	16.5%	13.5%	3.0%
						4	45～54歳	68	18.1%	15.0%	3.1%
						5	55～64歳	68	18.1%	19.3%	-1.2%
						6	65～74歳	74	19.7%	23.0%	-3.3%
						7	75歳以上	27	7.2%	12.7%	-5.5%

性別はH27と同様に男性よりも女性の方が回答率が高い。年齢もH27と同様に65～74歳の回答率が高いが、若年層の回答率が上がった。

2. 茂原市の印象や住み心地について

①誇り・愛着					
		回答数	R2	H27	増減
1	はっきりと持っている	47	12.6%	13.8%	-1.2%
2	漠然と持っている	130	34.8%	33.9%	0.9%
3	どちらともいえない	110	29.4%	29.1%	0.3%
4	ほとんど持っていない	50	13.4%	13.2%	0.2%
5	全く持っていない	22	5.9%	5.4%	0.5%
6	よくわからない	15	4.0%	4.7%	-0.7%

②住みごころ					
		回答数	R2	H27	増減
1	とても住みよい	25	6.9%	7.9%	-1.0%
2	まあまあ住みよい	190	52.3%	54.2%	-1.9%
3	どちらともいえない	109	30.0%	26.0%	4.0%
4	住みにくい	30	8.3%	9.5%	-1.2%
5	とても住みにくい	9	2.5%	2.4%	0.1%

誇り・愛着や住みごころは、H27同様「漠然と持っている」や「まあまあ住みよい」と感じている人が多い。また、茂原らしさを感じるものはH27の傾向とあまり変わらないが、「自然と共生する緑豊かな自然環境」が増加し、「企業集積」や「地下資源」が減少している。また、新たな項目である「ロケ地としての利用」は9.1%の回答があった。その他の回答としては、「生まれ育った場所だから」や「古い友達がいるから」などがあった。

③茂原らしさを感じるもの					
		回答数	R2	H27	増減
1	茂原七夕まつり(もばら阿波おどりも含む)や桜まつりなどのイベント	100	57.1%	56.8%	0.3%
2	茂原駅周辺や国道128号沿いなどの商業施設	38	21.7%	19.5%	2.2%
3	ハイテク産業などの企業集積	7	4.0%	11.1%	-7.1%
4	門前町としての古い歴史と伝統	23	13.1%	12.3%	0.8%
5	自然と共生する緑豊かな自然環境	103	58.9%	55.5%	3.4%
6	天然ガスやヨードなどの地下資源	48	27.4%	36.7%	-9.3%
7	電車やバスなどの公共交通機関や道路環境などの交通インフラ	16	9.1%	12.0%	-2.9%
8	市民体育館、市営野球場などのスポーツ施設	17	9.7%	7.4%	2.3%
9	図書館、公民館、福祉センターなどの学習や交流施設	24	13.7%	13.9%	-0.2%
10	茂原市民の人情や気質、市民同士のふれあいなど	38	21.7%	21.4%	0.3%
11	映画やテレビドラマのロケ地として多くの利用	16	9.1%		9.1%
12	特になし	7	4.0%	6.0%	-2.0%
13	その他	12	6.9%	7.2%	-0.3%

4. 結婚及び子育てについて(未婚者)

①独身でいる理由					
		回答数	R2	H27	増減
1	結婚するにはまだ若すぎる	11	14.9%	16.7%	-1.8%
2	結婚する必要性をまだ感じない	26	35.1%	21.4%	13.7%
3	今は、仕事(学業)にうちこみたい	12	16.2%	19.5%	-3.3%
4	今は、趣味や娯楽を楽しみたい	18	24.3%	17.1%	7.2%
5	独身の自由さや気楽さを失いたくない	20	27.0%	30.0%	-3.0%
6	ふさわしい相手が見つからない	18	24.3%	41.4%	-17.1%
7	異性とうまく付き合えない	8	10.8%	16.2%	-5.4%
8	家庭を持つ経済的な余裕がない	17	23.0%	29.5%	-6.5%
9	新婚生活の住居の目途が立たない	2	2.7%	1.4%	1.3%
10	親や周囲が同意しない(だろう)	2	2.7%	1.9%	0.8%
11	すでに結婚が決まっている	4	5.4%	3.3%	2.1%
12	その他	8	10.8%	11.0%	-0.2%

②欲しい子供の数					
		回答数	R2	H27	増減
1	0人(子どもは持たない)	2	3.6%	8.9%	-5.3%
2	1人	8	14.5%	14.9%	-0.4%
3	2人	36	65.5%	57.7%	7.8%
4	3人	9	16.4%	16.7%	-0.3%
5	4人	0	0.0%	0.6%	-0.6%
6	5人以上	0	0.0%	1.2%	-1.2%

独身でいる理由では、H27と比較して「ふさわしい相手が見つからない」が17.1%と大幅に減少したのに対し、「結婚する必要性をまだ感じない」が13.7%と大幅に増加した。欲しい子供の数はH27同様「2人」が最も多い。

5. 雇用について ①現在の勤務地

		回答数	R2	H27	増減
1	茂原市内	102	29.5%	32.7%	-3.2%
2	県内の他の市町村	145	41.9%	31.9%	10.0%
3	東京都	25	7.2%	7.7%	-0.5%
4	神奈川県	2	0.6%	0.5%	0.1%
5	埼玉県	2	0.6%	0.4%	0.2%
6	その他	19	5.5%	3.5%	2.0%
7	現在就職していない	51	14.7%	22.5%	-7.8%

現在の勤務地では、H27と比較して「県内の他の市町村」が10.0%増加して最も高く、「茂原市内」は3.2%減少した。

6. 地方創生について ①取り組んでほしい事業

		回答数	R2	H27	増減
1	企業誘致	135	36.8%	45.9%	-9.1%
2	既存の中堅、中小企業の支援	43	11.7%	14.8%	-3.1%
3	起業・創業の支援	29	7.9%	5.3%	2.6%
4	就業支援	48	13.1%	13.7%	-0.6%
5	農業振興	35	9.5%	9.1%	0.4%
6	商業振興	83	22.6%	20.6%	2.0%
7	観光振興	19	5.2%	5.8%	-0.6%
8	交通手段の確保	97	26.4%	23.4%	3.0%
9	交通インフラの整備	59	16.1%	13.6%	2.5%
10	子育て支援	85	23.2%	26.0%	-2.8%
11	少子化対策	35	9.5%	11.7%	-2.2%
12	移住・定住促進	32	8.7%	8.5%	0.2%
13	医療機関の充実	133	36.2%	41.5%	-5.3%
14	介護・福祉の充実	68	18.5%	22.4%	-3.9%
15	小さな拠点	17	4.6%	4.8%	-0.2%
16	その他	1	0.3%	2.6%	-2.3%
17	特になし	10	2.7%	2.3%	0.4%

地方創生において取り組んでほしい事業では、H27同様「企業誘致」と「医療機関の充実」が高いが減少し、「交通手段の確保」が3.0%増加した。その他の意見として「水害対策」が複数あった。

発行 茂原市
調査・編集 茂原市企画財政部
企画政策課政策推進室
千葉県茂原市道表1番地
TEL 0475-20-1516
FAX 0475-20-1603
Mail suishin@city.mobara.chiba.jp
令和2年7月

④住み続けたい理由

	回答数	R2	H27	増減
1 公共交通機関が便利	24	8.2%	11.0%	-2.8%
2 買い物・レジャー環境が充実している	55	18.7%	13.6%	5.1%
3 まちに賑わいを感じる	2	0.7%	0.8%	-0.1%
4 道路など生活インフラが整っている	18	6.1%	3.5%	2.6%
5 子育てしやすい環境だから	12	4.1%	4.3%	-0.2%
6 自然が豊かだから	113	38.4%	38.6%	-0.2%
7 親や子ども等が近隣に住んでいるから	80	27.2%	24.1%	3.1%
8 知人・友人がいるから	84	28.6%	31.5%	-2.9%
9 教育・文化施設が充実しているから	4	1.4%	0.7%	0.7%
10 医療・介護・福祉が充実している	7	2.4%	2.8%	-0.4%
11 職場・仕事先がある又は近いから	61	20.7%	20.0%	0.7%
12 実家・持家があるから	189	64.3%	68.3%	-4.0%
13 その他	11	3.7%	4.1%	-0.4%

⑤移りたい理由

	回答数	R2	H27	増減
1 公共交通機関が不便	34	56.7%	59.3%	-2.6%
2 買い物・レジャー環境が充実していない	21	35.0%	35.0%	0.0%
3 まちに賑わいを感じられない	17	28.3%	31.1%	-2.8%
4 道路など生活インフラが整っていない	10	16.7%	18.1%	-1.4%
5 子育てしづらい環境だから	13	21.7%	11.9%	9.8%
6 自然が豊かではないから	4	6.7%	2.8%	3.9%
7 親や子ども等が遠方に住んでいるから	6	10.0%	7.9%	2.1%
8 知人・友人がいないから	4	6.7%	5.1%	1.6%
9 教育・文化施設が充実していないから	17	28.3%	14.7%	13.6%
10 医療・介護・福祉が充実していない	23	38.3%	37.9%	0.4%
11 職場・仕事先の都合(転勤など)	8	13.3%	10.7%	2.6%
12 家の問題(手狭、他市に購入予定など)	4	6.7%	7.3%	-0.6%
13 その他	11	18.3%	17.5%	0.8%

⑥必要な施設

	回答数	R2	H27	増減
1 医療機関(診療所・総合病院等)	169	45.8%	49.8%	-4.0%
2 福祉・介護施設・高齢者向け住宅等	82	22.2%	27.6%	-5.4%
3 買い物や飲食・娯楽等の商業施設	126	34.1%	29.5%	4.6%
4 子育て支援施設(保育所・学童施設等)	47	12.7%	10.2%	2.5%
5 公共交通機関(鉄道・バス等)	116	31.4%	29.3%	2.1%
6 公園やスポーツ関係施設	90	24.4%	19.7%	4.7%
7 教育機関(小中学校・高校・大学)	21	5.7%	6.5%	-0.8%
8 防災・防犯の拠点となる施設	62	16.8%	17.6%	-0.8%
9 行政機関(支所・派出所)	4	1.1%	2.7%	-1.6%
10 地域住民の交流・コミュニティ施設	22	6.0%	8.3%	-2.3%
11 国際交流のための施設	8	2.2%	2.6%	-0.4%
12 市の歴史・文化を学べる施設	9	2.4%	3.6%	-1.2%
13 趣味の活動や発表の場	28	7.6%	6.9%	0.7%
14 特になし・わからない	31	8.4%	7.5%	0.9%
15 その他	19	5.1%	6.6%	-1.5%

住み続けたい理由では「実家・持家があるから」が群を抜いて多く、その他では「自然が豊かだから」や「知人・友人」「親や子ども」がいるという理由が多い。また「買い物・レジャー環境が充実している」が5.1%と多く増加した。これに対し移りたい理由では「公共交通機関が不便」が群を抜いて多く、その他では「買い物・レジャー環境が充実していない」や「医療・介護・福祉が充実していない」が多い。また、「教育・文化施設が充実していない」が13.6%と多く増加した。

必要な施設はH27同様「医療機関」が最も多く、その他では「買い物や飲食・娯楽等の商業施設」や「公共交通機関」が多い。また、「公園やスポーツ関係施設」が4.7%と多く増加した。

3. 結婚及び子育てについて(既婚者)

①予定する子どもの数

	回答数	R2	H27	増減
1 0人(子どもは欲しくない)	4	4.1%	2.5%	1.6%
2 1人	21	21.4%	12.7%	8.7%
3 2人	57	58.2%	63.5%	-5.3%
4 3人	13	13.3%	20.3%	-7.0%
5 4人	3	3.1%	0.8%	2.3%
6 5人以上	0	0.0%	0.3%	-0.3%

②理想とする子どもの数

	回答数	R2	H27	増減
1 0人(子どもは欲しくない)	1	1.0%	2.3%	-1.3%
2 1人	11	11.0%	4.3%	6.7%
3 2人	47	47.0%	50.6%	-3.6%
4 3人	37	37.0%	38.1%	-1.1%
5 4人	3	3.0%	3.8%	-0.8%
6 5人以上	1	1.0%	0.8%	0.2%

予定する子どもの数・理想とする子供の数ともに、「2人」が最も多いものの減少し、「1人」が増加した。予定する子どもの数が少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が群を抜いて多い。また、「育児の心理的、肉体的負担がきつい」が25.6%、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支える」が14.1%と大幅に増加した。

充実して欲しい支援策では「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が最も多いが、11.2%減少したのに対し、「再就職しやすくするための資格取得の補助」が12.0%と大幅に増加した。

その他の意見として、「不妊治療が行える婦人科の充実・助成」や「出かけやすい公共交通機関や道路の整備」などがあつた。

③理想とする子供の数に対し、予定する子どもの数が少ない理由

	回答数	R2	H27	増減
1 子育てや教育にお金がかかりすぎる	29	74.4%	68.5%	5.9%
2 住居があまり広くない	6	15.4%	16.0%	-0.6%
3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支える	12	30.8%	16.7%	14.1%
4 健康上の理由	5	12.8%	10.5%	2.3%
5 子どもが伸び伸び育つ環境ではない	5	12.8%	8.0%	4.8%
6 高年齢での出産に抵抗がある	9	23.1%	14.8%	8.3%
7 自分や夫婦の生活を大切にしたい	4	10.3%	6.8%	3.5%
8 欲しいけれどもできない	7	17.9%	19.8%	-1.9%
9 配偶者の家事・育児の協力が得られない	6	15.4%	8.0%	7.4%
10 配偶者が望まない	3	7.7%	7.4%	0.3%
11 育児の心理的、肉体的負担がきつい	16	41.0%	15.4%	25.6%
12 保育所などの預け先がない	8	20.5%	8.0%	12.5%
13 一定の収入が見込める間に末子には成人・就職してもらいたい	7	17.9%	15.4%	2.5%
14 その他	1	2.6%	9.3%	-6.7%

④充実して欲しい支援策

	回答数	R2	H27	増減
1 保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減	53	55.2%	66.4%	-11.2%
2 子ども連れでも出かけやすく、楽しめる場所の増加	37	38.5%	30.8%	7.7%
3 公共施設など親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会創出	14	14.6%	8.4%	6.2%
4 制約を受けることなく誰でも気軽に利用できる保育サービスの充実	26	27.1%	27.2%	-0.1%
5 安心して子どもを医療機関で受診させることのできる体制の整備	35	36.5%	42.9%	-6.4%
6 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業への職場環境改善の働きかけ	26	27.1%	19.5%	7.6%
7 再就職しやすくするための資格取得の補助	22	22.9%	10.9%	12.0%
8 保育所の増加・拡充	18	18.8%	11.6%	7.2%
9 幼稚園の増加・拡充	2	2.1%	5.9%	-3.8%
10 子育ての相談や情報収集できる場の整備	7	7.3%	6.3%	1.0%
11 病児・病後児保育施設の充実	14	14.6%	13.8%	0.8%
12 子育てについて学べる機会の創出	4	4.2%	2.7%	1.5%
13 産前産後ヘルパー制度の創設	2	2.1%	5.7%	-3.6%
14 インターネットによる子育て支援サイトの整備	2	2.1%	1.1%	1.0%
15 その他	6	6.3%	4.1%	2.2%